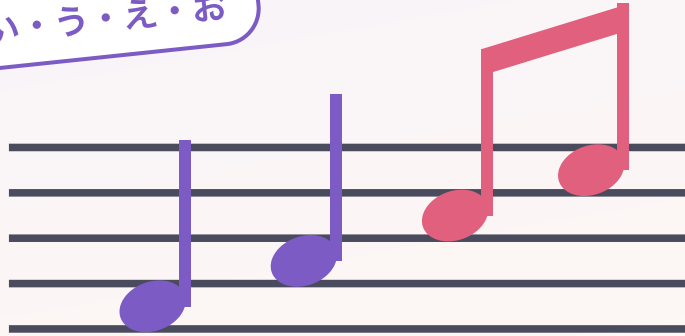


あ・い・う・え・お



ちゃんと伝わった！

ことばをはっきり歌う

歌詞が伝わる発音を身につけよう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

はっきり発音する基本	3～6
発音のコツ	7～11
歌詞を大切に作る	12～15
発音をみがく	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

発音がはっきりすると、歌詞が伝わります。



- 歌詞は、曲の気持ちや場面を伝える大切な要素です。
- はっきりした発音は、特別な才能ではなく、練習で身につく技術です。

1. 好きな歌を1つ思い浮かべ、歌詞のどの部分が印象に残っているか書こう。

母音をはっきり・子音をはっきり

母音と子音、それぞれの役わりを知ろう。

母音（ぼいん）

vowel

あ・い・う・え・おのような、のどを開いて出す音

子音（しいん）

consonant

か・さ・た行の最初の音のような、息や舌で区切る音

母音

声の響きをつくる

のびのある音

歌の響きを支える

口の形が大切

明るさや暗さが変わる

子音

言葉の輪郭をつくる

短くはっきり

言葉の始まりを伝える

舌や歯を使う

「た」「か」などの区切り

ポイント

- 母音がのびて響き、子音が言葉の輪郭をはっきりさせます。
- どちらか一方だけでなく、両方を意識すると歌詞が伝わりやすくなります。

やってみよう

- 「たなばた」を、子音をはっきり言うように読んでみよう。

書いて覚えよう

日本語ならではの発音の特ちょうを知ろう。

- 日本語は、1つ1つの音がほぼ同じ長さでリズムよく並ぶ言葉です。
- 歌うときにメロディの長さに合わせると、日本語らしい響きが変化することがあります。
- 1音ずつをていねいに発音すると、歌詞が聴き取りやすくなります。

1. 「さくら」を、1音ずつ同じ長さで読んでみよう。
2. 同じ「さくら」を、メロディにのせて少しのばして歌ってみよう。

ワンポイント 日本語の歌は、言葉のリズムとメロディのリズムをすり合わせる工夫がされています。



早口で歌うと、歌詞がごちゃごちゃになっちゃうんだ。



口をあまり動かさずに歌ってない？ もう少し大きく動かしてみて。

- 口の動きが小さいと、母音や子音の区別がぼやけます。
- 鏡を見ながら歌うと、口の動きを確認しやすくなります。

1. 鏡を見ながら「あいうえお」をはっきり口を動かして言おう。
2. 同じ言葉を、口をあまり動かさずに言い、ちがいを感受しよう。

「ん」の音を、はっきり響かせよう。

- 「ん」は、鼻に息を通して出す音で、日本語の歌詞によく出てきます。
- 「ん」を短く飲みこんでしまうと、言葉があいまいに聞こえます。
- 鼻の響きを意識すると、「ん」がはっきり聞こえるようになります。

1. 「こんにちは」の「ん」を意識して、ゆっくり言ってみよう。
2. 「ん」を1秒ほどのぼして、鼻の響きを感じよう。

書いて覚えよう

音をのばすときの母音を大切にしよう。

8

- 語尾（ごび）とは、言葉の終わりの部分のことです。
- 語尾が消えてしまうと、言葉が最後まで伝わりにくくなります。
- 小さな声でも、最後の音まではっきり出す意識をもちましょう。

1. 「ありがとう」の「う」まで、しっかり声を出して言おう。
2. 好きなフレーズの最後の言葉を、意識して歌ってみよう。

ワンポイント 語尾を強く出しすぎる必要はありません。最後まで存在を保つ、というイメージです。

速い歌詞も、区切りを意識すればはっきりに歌えます。

- 速い歌詞は、すべてを同じ強さで歌おうとすると、ごちゃごちゃになりがちです。
- 言葉のかたまりごとに区切ると、速くてもはっきり聞こえます。
- ゆっくりのテンポで練習してから、少しずつ速くしていきましょう。

1. 「あめんぼあかいなあいうえお」を、ゆっくりはっきり言ってみよう。
2. 同じ言葉を、少しずつ速くしながらくり返そう。

息と発音のバランス

息の量と発音の強さを、ちょうどよく保とう。

ポイント

- 息が多すぎると、言葉がかすれて聞こえにくくなります。
- 息が少なすぎると、声がかたくなり、言葉がきつく聞こえることがあります。
- 自分にとって心地よい息の量を、練習の中で見つけていきましょう。

やってみよう

1. 息を多めに出しながら歌ってみよう。
2. 息を少なめに、しっかり声にのせて歌ってみよう。ちがいを比べよう。

書いて覚えよう

言葉の区切り

どこで区切るかで、伝わり方が変わります。

ポイント

- 文の意味のまとまりで区切ると、歌詞の意味が伝わりやすくなります。
- 意味と関係のない場所で区切ると、聴く人が意味を取りにくくなります。
- 話し言葉と同じように、自然な区切りを意識しましょう。

やってみよう

1. 「今日は いい天気ですね」を、自然な区切りで読んでみよう。
2. 同じ文を、わざと変な場所で区切って読み、聴こえ方のちがいを感受しよう。

書いて覚えよう

- メロディをつけずに歌詞だけを読むと、言葉の意味に集中できます。
- 朗読で自然に感じた区切りやリズムは、歌うときにも生かされます。

1. 好きな歌の歌詞を1番だけ、声に出して朗読してみよう。
2. 朗読してみて、気づいたことを書こう。



Emma



- 意味がわからないまま歌うと、発音があいまいになりやすいです。
- 言葉の意味を考えると、自然と伝えたい部分がはっきりしてきます。

1. 好きな歌詞の意味を、自分の言葉で説明してみよう。

- 歌詞の中には、とくに伝えたい言葉があります。
- その言葉を少しだけ強く、はっきり発音すると、意味が伝わりやすくなります。
- すべての言葉を同じ強さで歌うと、大切な言葉が埋もれてしまいます。

- 好きなフレーズの中で、いちばん伝えたい言葉を1つえらぼう。
- その言葉を意識して歌ってみよう。

「な」 行の発音練習に

「か」 行の発音練習に

「あ」行と巻き舌の練習に

- 早口ことばは、口の動きをはやくても正確に動かす練習になります。
- はじめはゆっくり、正確に言えるようになってから速くしましょう。

1. 上の早口ことばを1つえらび、ゆっくり3回、正確に言おう。

- 英語の歌詞も、母音と子音を意識するとはっきり伝わります。
- カタカナ読みだけにたよると、実際の発音とずれることがあります。
- 無理に発音記号を覚えなくても、まねをして声に出すことから始められます。

1. 知っている英語の歌詞を1フレーズ、声に出してみよう。

ワンポイント 英語の発音は、次の教材「英語の歌を歌う」でくわしく練習します。

発音をよくする口の体操・録音して確認

口を動かし、結果を自分の耳で確かめよう。

口を大きく開く

あごを軽くゆるめる

舌を動かす

舌を前後・左右に動かす

ほおをふくらませる

空気を右左に移す

くちびるをすぼめる

「う」の形をつくる

ポイント

- Oの体操は、発音の動きをなめらかにする準備運動になります。
- 録音して聞き直すと、自分では気づかない発音のくせに気づけます。

やってみよう

1. 上の体操を、順番に1回ずつやってみよう。
2. 好きなフレーズを録音し、歌詞が聞き取れるか確かめよう。

書いて覚えよう

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

- 音程・リズム・発音がそろって、歌詞がしっかり届く歌になります。
- はっきりした発音は、聴く人への思いやりでもあります。
- 完ぺきを目指しすぎず、まずは1つの言葉を大切に歌うことから始めましょう。

1. 好きな歌を1曲、発音を意識して最後まで歌ってみよう。
2. 歌ってみて、いちばん意識できた言葉を書こう。

実際にやってみよう・ペアで練習

声を出し合って、発音を確かめよう。

A (歌詞を1行) ふるさとの空を見あげる

B (聞こえた言葉を)

A (早口ことばを) 生麦生米生卵

B (まねして)

ポイント

- A が発音したことを、B が聞き取って書く練習です。
- 聞き取れなかった言葉があれば、A の発音を見直すヒントになります。

ワンポイント うまく伝わらなくても大丈夫。くり返すうちに、はっきり発音するコツがつかめます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

語尾が消える

最後まで息が続かない

早口の歌詞がごちゃつく

区切りを意識できていない

「ん」があいまい

鼻の響きを使えていない

コツ

こうしてみよう

息を多めに準備する

最後まで声を保つ

かたまりで区切る

意味のまとまりで歌う

鼻の響きを意識する

「ん」をていねいに出す

ポイント

- できないところは、ゆっくり・短く区切って練習しましょう。
- 1つの言葉がはっきり言えるようになったら、次の言葉に進みましょう。

やってみよう

1. あなたが発音でつまずきやすいことは？ _____
2. 上のコツから、1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

音の言葉

☐ 母音

あ・い・う・え・おの音

☐ 子音

息や舌で区切る音

☐ 語尾

言葉の終わりの部分

発音のコツ

☐ 口を動かす

はっきり発音する基本

☐ 区切り

意味のまとまりで分ける

☐ 強調

伝えたい言葉を際立たせる

練習の言葉

☐ 朗読

メロディなしで言葉を読む

☐ 早口ことば

口の動きをきたえる練習

☐ 録音

自分の発音を確認する方法

体の言葉

☐ 息の量

発音の強さに関係する

☐ 口の体操

発音前の準備運動

☐ 鼻の響き

「ん」を出すときに使う

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、練習のポイントも伝わりやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|---------------------|
| 母音 | ● | ● ア. 口の動きをきたえる練習 |
| 子音 | ● | ● イ. 言葉の終わりの部分 |
| 語尾 | ● | ● ウ. あ・い・う・え・おの音 |
| 朗読 | ● | ● エ. 息や舌で区切る音 |
| 早口ことば | ● | ● オ. メロディなしで言葉を読むこと |

2. 発音にかかわる言葉を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. あ・い・う・え・おの音 → (母音 / 子音)
2. メロディなしで歌詞を読むこと → (朗読 / 録音)

書いて覚えよう

「あいうえお」を口を大きく動かして
言う

好きな歌詞を頭の中で朗読する

早口ことばを1つ練習する

歌詞の意味を1つ調べる

今日はっきり言えた言葉をノートに書
く

家族の前で発音を意識して1曲歌う

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが発音を育てる力になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

育ててきた発音を、人に聴いてもらおう。

発表した日

歌った曲

意識したこと

聴いてくれた人の
感想

Ken の例

発表した日 6月10日／曲 好きな歌の1番／意識したこと 語尾まで声を保つこと／感想 歌詞がよく聞こえたと言われた

感想を3文で書こう

① 発音を学ぶ前は、～でした。② 今は、～ができるようになりました。③ これからは、～を練習したいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

ことばを届ける力は、これからも育っていきます。

もっと知りたい人へ

朗読で

好きな詩や歌詞を声に出す

録音で

自分の発音を定期的に確認する

動画で

プロの歌詞の伝え方を見る

次のステップ

表情

気持ちをのせて歌う練習

ハモリ

音を重ねて響かせる練習

合唱

みんなで声を合わせる練習

ポイント

- この教材の次は「表情をつけて歌う」。伝わる発音に、気持ちを重ねていきます。

書いて覚えよう

毎日の中でも、発音はすぐに練習できます。

口を大きく開けて**母音**を言う

「ん」を鼻に響かせて言う

語尾まで声を保って話す

L33 (例) はっきりした発音は、母音・子音・語尾を大切にする練習で身につく。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。